

福祉フェスタ

ご来場

ありがとう

ございました♪



生活創造空間

にし
NISHI

～アンラシネを目指します～

第42号 2019年10月21日発行

今年の第三地区福祉フェスタが10月5日
好天に恵まれる中、開かれました。
節目の10回目となる今回は、記念開催に
ふさわしい内容を、と実行委内で頭を悩ませて
きました。その結果、フィナーレを飾るお楽しみ
抽選会をもう一段盛り上げよう！と、今回、主催
8事業所ごとに提供するプレゼントの他に事業
所からそれぞれ持ち寄り、それをまとめて贈る
「福」袋を二つ用意致しました。

会場内、身動きが取れない程の集まりで、
みんなで楽しめたかと思います。
事業所にはご負担をおかけしたかもしれない
のですが、大成功だったと感じています。

オープニングから最後のBホップダンスまで、
障害を持つ当事者によるステージで一段と
拍手の輪が広がり、お客さんも参加してのダンスに
一体感が強まるフェスタになったのではないですか。
これも準備から当日まで頑張ってお下さったスタッフのおかげと感謝しています。

中でも第1回から実行委員を続けている、みらい工房西の近藤さんには誌面をお借りし、
お礼申し上げます。来年もよろしくお願い致します！



実行委員長 官林 祐治

ちょうよう せっく 重陽の節供



9月9日は「重陽」と呼ばれる長寿を願う節供です。
古来中国では、奇数はよいことを表す陽数、偶数は悪いことを示す陰数と考えられ、その中でも一番大きな陽数(9)が重なる9月9日を、陽が重なりと書いて「重陽の節供」と定め、不老長寿や繁栄を願うようになったそうです。

みんなの節供のコンサートには、おもちゃのはこさんに来て頂き、「ふるさと」などの秋らしい曲を演奏していただきました。
コンサート終了後は、112名程の方がバイキングに参加されていました。
今回のメニューは、「きのこごはん」、「塩焼きそば」、「麻婆茄子」、「鳥の唐揚げ」、「フライドポテト」、「大根と水菜とツナのサラダ」、「三浦創生舎の餃子」、デザートには、「フルーツ杏仁」を用意し、皆様、楽しそうに食事をされていました。

次回のみんなの節供は、1月10日(金) 七草の節供 です。



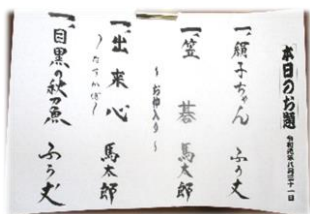
吉田 誠

にぎわい&にしょこ寄席 其の15 8月31日(土)報告

「子供の頃から、(生活創造空間)にしの舞台に立つのが夢でした」。ふう丈さんのつかみに、40名を超える地域のお客様がどっと沸きました。

8月31日土曜日、15回目を迎える「にぎわいあんどにしょこ寄席」を開催。昨年まで毎回のようにご出演頂いた夏丸さんの真打昇進に伴い、今年からは、若手でご活躍されている方を中心に開催することになりました。

今回の演者は三遊亭ふう丈(さんゆうてい ふうじょう)さんと金原亭馬太郎(きんげんてい うまたろう)さん。“動”のふう丈さんに“静”の馬太郎さんといったところでしょうか。勢いのある喋りにボディランゲージも大きいふう丈さん、淡々として落ち着いた口調で喋る馬太郎さん。馬太郎さんは大河ドラマ「いだてん」に出演したとか。ただし放映されたのは0.8秒とのこと…。二人の芸風が対照的で、大いに興味をそそります。



古典落語、創作落語の他にも、ふう丈さんの「嫁に来ないか」の熱唱、馬太郎さんの踊りの披露など、お客様も大満足のあっという間の2時間でした。

次回もありますので、ご期待ください。

西横亭 じゅん

第2回『地域生活支援拠点事業化！地域共生社会を考える』

～『支援者・家族のニーズ』と『本人中心・意思決定支援』～

令和元年 8月 29日（木）18時～20時 参加者…33名

にし 研修 報告

森 博宣

今年度、第2回目のにし研修が8月29日（木）に生活創造空間にしに於いて、開催されました。今年度は年5回開催予定で、テーマは『働く！！暮らす！！を考える』。今回はその『暮らす』を焦点化し、2年前から横浜市の先行モデル区として『地域生活支援拠点』を事業化している鶴見区から、つまみ地域活動ホーム幹の井上様をお招きして、『地域生活支援拠点』の実際の支援と、そこから見えてきた事についてお話を頂き、その後、グループワークを実施しました。

当日は、障害福祉関係の方の参加はもちろん、学校、事務職、高齢支援者の方など多職種で、且つ幅広い経験値、年齢層の方にご参加いただきました。また特筆すべきは、今後、みなとみらい地区で自治活動を検討しているという地域の方にご参加いただけたことです。その方はマンションの掲示板に貼ってあった研修のチラシを見て参加してくださったとのこと。改めて、地道に地域の会議等に出席させていただき、その中で情報発信をする大切さを感じました。ご来場いただきました方、本当にありがとうございました。

さて、その研修の内容です。講義では実際に対応した緊急時の受け入れの事例を踏まえつつ、地域で安心して暮らすとはどういうことなのか、その安心は誰のものなのか、重度知的障害の方の意思をどう汲み取ったらいいのか、果たして提供しようとしている支援メニューはご本人にとって良い方針なのか、そもそも緊急事態を招かないような事前の支援メニューの充実が重要ではないか、グループホーム、入所施設、地活ショートステイだけでない支援メニュー、選択肢を増やすことが重要ではないのか、などなど。様々な問題提起をいただき、またそれに対する井上様の大切にしている支援観をお示しいただきました。

講師の井上様は、その厳つい(?)ルックスとは裏腹にとっても穏やかに、耳心地の良い語り口調でお話をして頂きました。そうした口調の中にも、その実はご利用者の『意思決定支援』という難しいテーマについての熱いお気持ちが多分にこもっているものでした。



来年度、西区でも『地域生活支援拠点』が事業化されます。安心して地域で暮らすとはどういうことなのか、そこに私たちはどんな準備が出来るのか。横浜市で基幹相談支援センターが事業化されて4年目。今ではこれまで相談が入らなかったような関係機関や地域の方からも、多くのご相談を頂けています。地域で支えるということについて、これまで顕在化していなかったニーズが多く在ったのだろうと実感します。そうした頂いたニーズ、相談に対して、実際のサービス提供や直接支援の有無は別としても、丁寧に対応する、受け止めることの大切さをおもいます。そのことが更なる繋がりとなる。

今後とも『にし研修』ならびに基幹相談支援センターをよろしくお願いいたします。

生活創造空間にしと近隣地域のイベントスケジュール



日時	行事	場所	備考
26日(土) 14:00 開演	サッキーズ「First Concert」 2人の「さき」がコンビを組んだ「サッキーズ」さん初コンサート。 友情出演されるゲストもいらっしゃいます。	生活創造空間にし [浜松町14-40]	入場無料 ＜問合せ＞ 生活創造空間にし ☎：250-6506
26日(土) 15:00～17:00	🎃ハッピーハロウィーン🎃 サンモール西横浜商店街がハロウィン色に！？ リコーダーのリズムに合わせて仮装パレードを練り歩きましょう🎃 (♫ ` ヴ ` ♪)★TRICK OR TREAT★(♪ ` ヴ ` ♫)	サンモール西横浜	＜予定＞ 15:00～ 木彫りのコースター作り ポッチャ / 仮装パレード 16:30～ ペットボトルボーリング お菓子のプレゼント♪
30日(水) 18:00～20:00	コンサート邂逅 Vol.25 カテリーナの音楽の世界 ウクライナ出身のバンドゥリスト カテリーナさんによるコンサート。 民族楽器バンドウラと美しい歌声で彩られる音の世界をご堪能下さい。	生活創造空間にし [浜松町14-40]	チケット：500円 フリードリンク ＜問合せ＞ 生活創造空間にし ☎：250-6506



日時	行事	場所	備考
3日(日) 10:00～14:30	第44回 西区民まつり 子ども大人も楽しめるお祭りです。 ぜひ会場へお越しください！	戸部公園 西前小学校 等	小雨決行、荒天中止 ＜問合せ＞ 西区民まつり実行委員会事務局 TEL：320-8389
4日(月) 12:00～16:30	第33回『へそまつり』 藤棚の商店街全域で行う秋恒例の「へそまつり」！ サンモール西横浜では、盆踊りやフラダンスの催しのほかに、 フードフェスタやポッチャ等があります！	サンモール西横浜	＜予定＞ 12:00～ フードフェスタ 13:00～ 盆踊り・フラダンス ポッチャ
20日(木) 18:00～20:00	西区四志会主催公開講演会 『生きづらさ』を打破するために ～わたしたちは地域でなにができるか？なにをすべきか？～ シンポジスト：藤田 孝典先生（NPO法人ほっとぶらす代表理事） 渡辺 幹夫氏（ねくさす所長）／武田 容子氏（民生委員） コーディネーター：加藤 伸輔氏（ピアサポートグループ在、生活支援センター西）	生活創造空間にし [浜松町14-40]	対象：どなたでも 参加費：500円 ＜問合せ＆申し込み＞ 生活創造空間にし ☎：250-6506

男もや田のもやもや日記

数年もあれば、常識が変わっていくように感じます。

特に、タバコに関しては、数年前に副流煙や受動喫煙による健康被害が話題になり、その辺りから、どんどん規制が厳しくなり、値上げや喫煙場所の制限、ついに来年からは居酒屋などの飲食店でも禁煙とされる店舗が出てくるとのこと。タバコを吸わない方々からすれば臭いや煙たい思いをせずにすむので、良いことだと思います。

一方、喫煙者からするととても肩身の狭い思いをすることでしょう。私も喫煙者の一人なので、居酒屋でもタバコが吸えないのはとても辛いと感じます。そして、日本のルールを決めている人にお願ひがあります。どうせなら、もうタバコの販売を止めていただきたい。タバコが無ければ吸うこともありません。でも、タバコが売っていれば買いますし、喫煙場所に少しずつ規制を掛けられると、喫煙者はその規制の枠の中に何とか集まってタバコを吸おうとするものです。売らなければ未成年者の喫煙もなくなりますよね。タバコごときに、こんな屁理屈を並べてしまう自分にもモヤモヤしています。

生活創造空間にし URL：http://www.souzoukuukannishi.org
 【発行・印刷】生活創造空間にし広報委員会 〒220-0055 横浜市西区浜松町14-40
 ☎ 045-250-6506（ガッツ・ビーと西） ☎ 045-250-6470（エヌ・クラブ）